

この月の納税メモ
固定資産税第1期
国民健康保険税第1期
 納期限は30日ですから
 お忘れなく納めてください。

広報しんね

第59号 昭和41年4月10日

発行所 白根市役所
 編集 白根市企画課

市の戸籍

総人口	6,308
世帯	34,435
男	16,485
女	17,950
(41.2月中)	
出生	30
死亡	24
転入	54
婚姻	47
離婚	2
転出	73

新年度予算のあらまし

三月十六日から二十九日まで開かれていた定例市議会で、原案どおり可決された四十一年度一般会計当初予算のあらましをお知らせします。

予算総額は、五億三千四百三十九万円で前年度当初に比べ三千三百四十四万、同現計に比べると一億三千四百四十四万下回っています。前年度当初よりも減ったのは、前年度当初に市道三橋の震災復旧事業費(七千七百七十九万)が計上されていたからで、それを除いて比較すると四千四百七十五万増え、通年予算としてはじめて五億円台を超えた大型予算です。

予算を投資的経費や、消費的経費などの性質別に分けてみますと、給与費、物件費、補助奨励費などのいわゆる消費的経費が、職員給与平年度化による人件費増と、物価高を反映して前年度当初より構成費で十%、公債費などの義務的経費は二・五%それぞれ増えています。投資的経費も前年度より二・七%増加している。財政構造からみれば、一応、産業基盤と教育福祉施設整備に重点をおいた健全積極予算とみられます。以下費目ごとにそのあらましを紹介いたします。

道路事業に重点的配分

舗装費、一挙に一千万円

まず土木費です。前年当初より千九百八十九万多い六千六百七十五万円を計上して、最も重点的な予算配分をほかっています。

そこで、道路排水路の新設改良に二千四百三十三万六千円を、優先的にとり上げたものとしては、るっ骨道路整備計画にもついでに、新国道八号線連続道路工事費三百六十七万円、新町通り舗装工事費一千万円、

また、白根地区給食センターが新年度から本格的に仕事を始めるわけですが、給食用自動車やそのほかの備品購入費に九十七万円、ガス施設、車庫建設費に百二十万円をみているほか、各学校舎の補修整備費として二百二十四万円計上しています。

白根小の校舎を補強

次は教育費です。総額は前年当初より八百五十二万多い九千八百七十二万円で、予算総額の十八・五%と最高の割合をしめ重点施策として、強く打ちだされています。

小学校費では白根小学校の南・中校舎補強工事費に四百八万円、高井小学校児童便所

農業経営後継者を育成

金融対策で援助—商工業

農業費の総額は前年当初とほとんど同額の三千二十七万円で、おもな事業費としては、ニ化イ虫防除農薬空中散布事業委託料八十万円、農産物高収入校生に対する奨学補助金八十六万円、農業振興融資子補給金七十四万円、そのほか、災害融資子補給金と農業近代化資金子補給金あわせて百六十万円、そのほか、園芸畜産振興費として二百七十九万円計上しています。

一方、商工業では前年当初より百二十一万四千六百五十二万円を計上。各種技術講習会開催費二十五万円、産業育成資金子補給金五百一十万円、商工中金子補給金七十五万円がそのおもなもの、金融面で商工業の発展を援助しようとする施策がみられます。

交通事故に備え

救急車を配置

そのほか、消防費では前年当初より三百六十九万四千二百七十九万円が計上されています。

内訳をみますと、学校などの公共施設周辺に防火水槽を

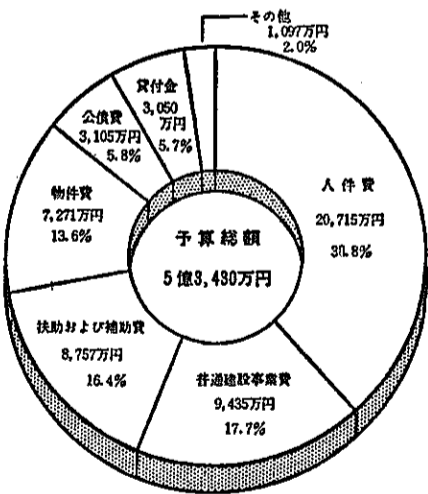
写真は新年度予算を審議する市議会のもよう



(一般会計支出と財源内訳) 単位: 万円

科目	予算額	財源内訳		
		国県支出金	地方債	一般財源
議費	1,535			1,535
会務費	9,097	179	210	8,708
民生費	9,481	3,930	200	1,619
衛生費	2,588	74		378
労働費	19			19
農業費	3,027	219		260
工業費	4,652			2,942
土木費	6,675	1,257	1,780	18
消防費	2,279	20		
教育費	9,872	956	500	59
旧費	1			1
復旧費	3,104	1,161		42
支費	1,000			1,000
備費	0			100
計	53,430	7,796	2,480	5,528
				37,626

支出の性質別の金額と割合



根岸地区に児童館建設

古川保育所を増築

民生費の総額は、前年当初より八百三十九万四千四百八十一万円、予算総額の十七・七%で教育費に次ぐ割合をしめています。

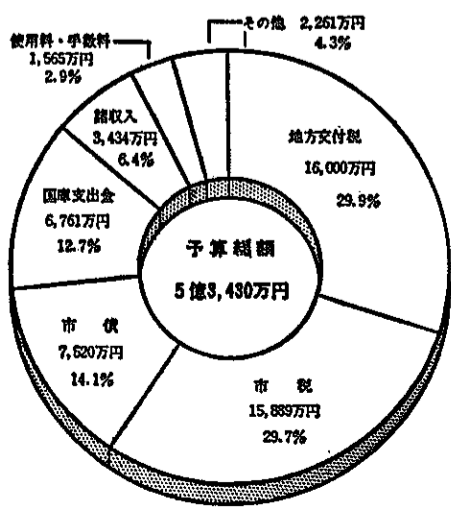
ここに計上されているおもな経費は、敬老会費五十九万円、招魂祭費五十五万円、遺族会補助二十七万円、老人クラブ補助四十二万円、村松老人ホームに入っている方々の委託料と負担金百四十五万円、精進庵施設「ふなおか学園」の負担金七十九万円、古川、高井保育所増築費九十三万円、根岸児童館新築工事費四十七万円、それに将来の普通保育所設置の方針のもと、乳児保育所の隣接地に新たに敷地を確保するため二百二十五万円の用地買収費を計上。そのほか、生活保護扶助費に三千二百万円をみえています。

衛生費では前年当初より四百二十九万四千五百八十八万円を計上。母子健康センターの管理運営費に二百五十万円、カヤハエの駆除薬剤購入費百五十七万円、薬剤散布四兼機六台購入費六十万円、ごみ収集委託料四百二十八万円、焼却炉補修工事費八十五万円、し尿処理場清掃組合負担金五百万円がそのおもなものです。

地方交付税が最高の割合

構成比の29.9%しめる

収入の項目別の金額と割合



収入の落ちこみ、公共事業の増加による自己財源の持ち出し、職員給与改定の平年度化による人件費増などで、財政はきわめてくるしい状態です。しかもその編成にあたっては、できるかぎり健全性を確保する方針で編成すること、が要求されています。

そこで、財源の算定にあたっては、できるだけ不確定なものは除き、現在の時点で見込むことができる財源は、できるだけこれをとらえて計上しました。

まず市税、収入総額の二十九・七%で一億五千八百八十九万円、その内訳を前年当初とくらべてみますと、市民税は二千八百八十六万円増の五千

市民税の落ちこみ、公共事業の増加による自己財源の持ち出し、職員給与改定の平年度化による人件費増などで、財政はきわめてくるしい状態です。しかもその編成にあたっては、できるかぎり健全性を確保する方針で編成すること、が要求されています。

そこで、財源の算定にあたっては、できるだけ不確定なものは除き、現在の時点で見込むことができる財源は、できるだけこれをとらえて計上しました。

まず市税、収入総額の二十九・七%で一億五千八百八十九万円、その内訳を前年当初とくらべてみますと、市民税は二千八百八十六万円増の五千

これまでに五百五十七万円、固定資産税は五百九十九万円増の五千九百九十九万円、軽自動車税は四百九十九万円増の五百八十九万円、たばこ消費税は三百四十一万円増の二千四百七十五万円、電気ガス税は二百四十五万円増の二千二百六十六万円となっています。

収入は、前年当初より、地方交付税は、収入総額に占める割合が最高の二十九・九%の一億六千万円を計上、これからみても本市の財政基盤がいかに浅いかがわかります。

国庫支出金は、前年当初より七千六百五十四万円少ない六千七百六十一万円を見込んでいます。前年より大幅に減ったのは、震災復旧国庫負担金がなくなったため、生活保護費、小・中学校教材費減補てん償元利補助金、都市計画街路事業費などに対する国庫支出金がおもなものです。

県支出金は三千四百四十四万円、その内訳は新町通り舗装事業補助や農業委員会費補助、県民税取扱委託金が入っています。

市債は根岸児童館建設、るっ骨道路整備、都市計画街路事業、庄瀬中学校整備のため四十万円が含まれています。そのほか、収入に見込んでいないものは、使用料千五百六十五万円、財産収入百七十二万円、繰入金三百四十六万円、諸収入三千四百三十三